

## 国際交流センターの国際交流活動への取り組み

— 2017年度 国際交流センター活動報告 —

Approach to international exchange activities of the International Exchange Center

— 2017 International Exchange Center Activity Report —

経営学部現代経営学科

田村 綾子

TAMURA, Ayako

Department of Contemporary Business

Faculty of Business Administration

**要旨：** 本学において、グローバル・スタディーセンター、国際交流センター、留学推進室は、留学関連業務を担う部署として位置づけられている。その中で、国際交流センターは、外国人留学生のための文化体験イベントの充実と学内の国際化の推進を目標に活動をしている。2017年度は、新たに早島町教育委員会、倉敷国際ふれあい広場実行委員会などとの連携により、国際交流活動が飛躍的に増えた。2017年度の活動を総括する。

**キーワード：** 留学生、国際交流、文化体験、地域連携

### 1. はじめに

2017年度、留学生の送り出し・受け入れ業務を行う部署として3つの部署が設置された。それぞれの業務分担は以下の通りである。

- (1) グローバル・スタディーセンター (GSC)
  - ・ IPU全体の日本語教育の統括
  - ・ 別科教育 (学部入学前の予備教育)
- (2) 国際交流センター
  - ・ 外国人留学生対象の文化体験イベントの充実
  - ・ 日本人学生と留学生の交流の活発化による学内の国際交流の推進
- (3) 留学推進室
  - ・ 留学 (OUT, IN) の整備, 活性化
  - ・ 留学生募集連携
  - ・ 留学諸手続きマニュアルの整備
  - ・ 留学生生活サポート

国際交流センターは、その名の通り、国際交流活動を推進する部署であり、外国人留学生 (以下留学生) を中心とした国際交流活動を担っている。本稿では、2017年度における国際センターの国際交流活動の報告を行う。

### 2. 2017年度在籍の留学生について

#### 2.1. 留学生の内訳

本学は2013年度より本格的に留学生の受け入れを開始した。当初、次世代教育学部国際教育学科が受け入れを行っていたが、国際教育学科の改組に伴い、2016年度より新しく開設された経営学部現代経営学科が受け入れることとなった。また、別科生については、2015年秋より受け入れを開始し、ほとんどの学生が半年間の予備教育の後、本学の現代経営学科に入学している。

2017年度5月現在の外国人留学生の人数を、表1にまとめた。表を見てわかるように、ベトナム国籍の学生が最も多い。

表1 2017年5月現在の留学生数

国籍	学部	別科	合計
ウズベキスタン	1	0	1
タイ	7	0	7
ネパール	1	0	1
ベトナム	213	67	280
韓国	5	0	5
台湾	1	0	1
中国	4	0	4

## 2.2. 留学生のニーズ

年度初めに行う、面談等で留学生から出された希望を見ると、留学生は①日本人学生と友達になること、②日本文化を体験すること、③国際交流のイベントに参加することを希望が多かった。③でいう国際交流イベントとは、日本人学生や地域の方々と行われる交流会のことで、日本人と直接交流を持ったり、生活に触れたりすることで、日本をより理解し、生きた日本語を学べるという期待があるようであった。

日本の伝統文化体験については、着物や浴衣の着付け、茶道・空手などの体験、書道などを希望する者が多かった。日本の伝統文化にどのようなものがあるか知識が少ないため、何を希望したらいいかわからない者も多いようだった。

## 3. 国際交流センターの活動方針

2017年度、国際交流センターでは、以下の3点に力を入れ、国際交流活動を行った。

### 1) 地域と連携した交流活動

様々な自治体、国際交流団体と連携し、交流活動の多様化を図り、質、量共に優れた交流活動を行う。

### 2) 他の教育機関との連携

他大学や日本語学校等と連携し、日本語教育や日本文化理解教育の向上を図る。また、他の教育機関に在籍する留学生と交流を図ることで、本学の留学生の視野を広げる。

### 3) IPU内部の国際化

学内で国際交流イベントを行うことで、留学生と日本人学生との交流を図る。

## 3.1. 地域との連携

今年度は、岡山県内の早島町、赤磐市、矢掛町、倉敷市（倉敷「国際ふれあい広場」実行委員会）、岡山市内の瀬戸町、朝日町、と連携を取り、国際交流イベントを行った。

### 3.1.1. 早島町との連携

早島町、早島町教育委員会と連携を取り、国際交流活動を行った。

#### 1) 早島町の国際交流活動への取り組み

早島町では、早島学校教育ビジョンを掲げ、学校教育、生涯教育において様々な取り組みをしている。早島町が本学の留学生と交流会を行う目的は以下の通りである。

①環太平洋大学の留学生との交流を通して、様々な国の様子を知り、世界への視野を広げるとともに、早島の魅力を英語で発信することで早島を誇りに思う心を育てる。

②英語やその他、留学生の母国語での言葉の交流を通して、間違いを恐れない態度や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を培う。

## 2) 交流内容

### (1) ロゲイニング

#### a. ロゲイニングとは

ロゲイニングとは、オーストラリアで1970年代に始まったもので、オリエンテーリングに似ている活動である。地図上に示されたチェックポイントを回り、その回ったチェックポイントの多さで得点が得られる。

早島町のロゲイニングでは、早島の歴史的な建造物や生活に必要な施設、その季節に見られる花や鳥などがチェックポイントになっており、発見の難易度によって点数が決められている。早島町の中を巡りながら、早島について知ることができるルートが整えられている。チェックポイントを発見した証拠としてチェックポイントを写真に撮ることになっており、制限時間内にゴールできないと減点される。

早島町で行うロゲイニングの目的は、①小学生や地域の方が、留学生という異文化に触れ、異文化を通して地域を再発見する、②留学生が日本や早島町を知り、日本についての理解を深め、自文化を内省する、この2点である。

このため、ロゲイニングのグループは、常に小学生、地域の方、留学生の混合グループであり、協力してチェックポイントを探すこととなる。また、終了後、お互いの発見を発表し合うという時間も取ることで、より深い理解と学びの場が提供されている。

このイベントは早島町の生涯学習課が中心となって行われている。



図1 ロゲイニングの参加者

## b. 実施日

5月13日(土)、6月10日(土)、11月18日(土)、12月9日(土)の計4回実施した。添付した資料にあるように、毎回15人~20人の留学生が参加し、日本人参加者と合わせて、30~40人規模のイベントであった。

## c. 学生の反応

初めはコミュニケーションがうまくできないグループもあったが、回を重ねるごとにお互いに慣れ、単に点数を獲得するより、チェックポイントで見たものについて、話をする時間が長くなっていった。

4回すべて参加した学生は、小学生や地域の方と友達になり、チェックポイントを探すより、会話を優先していた。

## (2) 夏休み ESD Waku-Waku Time

### a. ESD Waku-Waku Timeとは

早島町で、夏休みに実施されているイベントで、小学生に地元の文化を教え、慣れ親しませる活動である。そこに留学生を参加させていただいた。留学生を活動に参加させることで、小学生に、より自分の文化について考える機会を作り、留学生には小学生たちと交流しながら、早島という地域の伝統的な文化に触れることで、日本への理解を深めることを目的として行われた。

## b. 実施日と体験内容

8月7日(月):デコ巻きづくり

8月8日(火):い草を使ったうちわづくり

8月27日(日):い草太鼓 い草卓球

## c. 学生の反応

大学にただけでは体験できない貴重な体験ができ、活動を通じて、会話もスムーズに進んでいた。

## (3) 「アジアの国のお話会」

### a. 「アジアの国のお話会」の概要

早島町の図書館で、留学生の出身国の昔話を、留学生が母語で、そして、小学生がその翻訳を日本語で語る会である。最終日には、日本の昔話をベトナム語に翻訳したものの読み聞かせも行った。

「お話」の前にその「お話」が生まれた国の紹介をし、「お話」の後は、小さなグループに分かれての交流を行った。

## b. 実施日とお話のタイトル

7月29日:「農夫とへび」(タイ)

「牽牛と織姫」(中国)

8月5日:「嫦娥奔月」(中国)

「穴の中のモンスター」(ベトナム)

8月19日:「端午節」(台湾)

「ラックロンクアンとオウコー」

(ベトナム)

8月26日:「大工と鬼六」(日本)

「穴の中のモンスター」(ベトナム)

## c. 学生の反応

自分たちの国の言葉で物語を読むというのは、留学生にとって喜びが大きかったようだ。日本人の子ども達、特に園児の反応が非常によく、留学生の母語を聞いた園児たちは、意味がわからないにもかかわらず、熱心に聞いていた。

また、お話会の後の小グループに分かれての交流は、大人の参加者から好評だった。



図2 学生が作成した読み聞かせの冊子

## (4) その他の活動

早島町では、上記の他に様々な活動を行った。

### a. 早島幼稚園でのキッズイングリッシュ

留学生と子ども発達学科のアンソニー先生のゼミ生が、早島幼稚園を訪問した。2回訪問し、それぞれ2クラスの子とも達と英語でゲームをしたり、英語のお話を聞かせたりした。

### b. 早島中学校でのHayashima English Day

「英語でアジアを知る」をテーマとした活動である。留学生が5分程度で「自我介绍」、「自国の自慢」、「日本で驚いたこと」などを英語で紹介し、それについて中学生が英語で質問をした。中学生が英語を使う場と異文化を知る機会を提供した。

### c. 土曜英会話塾

早島中央公民館で行われている、小学生向けの英語のクラスに4回お邪魔し、小学生の会話の相手になったり、英語による母国の紹介をしたりした。

### d. 「まなび舎講座(大人のはやし塾)」

学び舎講座は生涯教育の一環で行われている、地域



の社会人向け教養講座である。この講座で地域の方にベトナム料理の講習会を行った。

#### (5) 早島町での活動について

早島町との交流活動は、今年度初めてであったが、多種多様な活動ができた。早島町という地域の特性を生かした活動ができ、また同じ活動を複数回行うことで、参加者と深く交流ができた。このような地域に密着した交流は協力関係にある相手がいないとなかなか体験できないものであり、協力関係が結べたことは良かった。

### 3.1.2. 赤磐市との連携

赤磐市は、本学の所在地である岡山市東区瀬戸町と隣接した市である。国際教育学科などでのゼミ活動やインターンシップの活動などで協力関係にあった縁で、交流会が実施できた。

#### (1) ブドウの収穫体験

赤磐市是里村でブドウの収穫体験と選果体験を行った。是里村は、県外や外国からの体験ツアーを受け入れており、留学生に体験させることに慣れていた。留学生は貴重な体験をするとともに、高価なブドウをお土産としてもらい、満足をしていた。

この体験後、ベトナムで売るとしたらどの品種がいか、また価格はどのくらいに設定したらいいか等アンケート調査に協力した。



図3 ブドウ収穫体験

#### (2) 是里村運動会

是里村での村民運動会に参加させてもらった。老人や小中学生が中心の運動会なので、留学生にも無理なく参加できた。また、競技中、競技後、昼食時等で村民たちと楽しそうに会話する留学生が多く見られた。

#### (3) 赤磐市との連携について

赤磐市と留学生の交流はまだ少ないが赤磐市は上記

のような活動、特に山間部で人口が減少している地域の活性化を目的とする交流活動に積極的である。今後、一緒にどのような活動ができるか考え、協力していきたい。

### 3.1.3. 倉敷国際ふれあい広場実行委員会との連携

#### a. 倉敷国際ふれあい広場の概要

倉敷国際ふれあい広場は、今年で27回目を迎える歴史のある国際交流イベントである。主催は「倉敷国際ふれあい広場実行委員会」であり、倉敷市国際交流課に事務局を置いている。

倉敷国際ふれあい広場は、日本人市民と外国人市民の相互交流の機会を提供し、地域の国際化を推進するイベントとして毎年開催されている。

会場は倉敷市芸文館であり、世界の料理屋台やフリーマーケット、世界各国の歌や踊りのパフォーマンス、スタンプラリーや世界一周ゲーム、中国民間文化伝統展示、ニュージーランドまるわかり、英語俳句、外国人なんでも相談コーナー、などのプログラムを通して、国際理解と交流を深めるイベントである。

本学は、今年度より参加させていただき、①パフォーマンス、②ベトナムカフェ、③ベトナム文化紹介、④ボランティアの4つの活動を行った。

#### b. 実施日、活動内容等

会場：倉敷芸文館

10月13日（土）準備とリハーサル

10月14日（日）「倉敷国際ふれあい広場」当日

9：00～準備

10：00 イベント開始

イベント全体の内容

- ・様々な国のダンス・歌等のパフォーマンス
- ・パフォーマンス会場でのカフェ
- ・文化紹介

（日本・中国・ニュージーランド・ネパール等）



図4 ベトナムカフェ

- ・多国籍屋台
- ・フリーマーケット

16:00 終了 片付け

学生は担当している活動の他に、他の文化紹介ブースや多国籍屋台を訪れ、多文化交流を楽しんでいた。

#### c. 学生の反応

パフォーマンスはベトナム舞踊と歌、ベトナム語の読み聞かせを行った。パフォーマンスは好評で、学生も満足したようだった。

ベトナムカフェでは、今回はグアテマラコーヒーのブースがあるので、コーヒーではなくお茶を提供するように頼まれていたが、多くの参加者がベトナムコーヒーがないことを残念がった。そのため、多くのベトナム人学生が次回はぜひコーヒーを提供したいと意欲を示した。

留学生は文化紹介、ボランティア等も積極的に行い、多国籍屋台や多くの文化紹介ブースを楽しんでいた。しかし、イベントが長時間にわたっていたためか、途中で帰ってしまう学生が多く、今後の課題となった。

イベント終了後、主催者側から来年もぜひ参加してほしい旨を伝えられた。

### 3.1.4 ベトナムフェスティバルin矢掛町

#### a. ベトナムフェスティバルin矢掛とは

矢掛町は、ベトナム人研修生が多い町である。しかし、普段矢掛町に住んでいる町民は、研修生との接点がない。ベトナム研修生は研修先の工場からあまり外に出ることがないという。その状態を変えようと、「ベトナムフェスティバル実行委員会」が、ベトナム人研修生と町民が交流できるイベントとして計画したのが、「ベトナムフェスティバルin矢掛町」である。計画当初より、協力を依頼され、多くの留学生が参加した。

IPUのベトナム人留学生が中心となり、①ベトナム料理の屋台、②ベトナム語のカラオケ大会とダンス等のイベントを盛り上げた。

会場には、本学の留学生の他、矢掛町の人々による屋台が並び、ベトナム人研修生及び留学生は無料ですべての料理を食べることができるようになっていた。ちなみに、町民は500円で入場料を支払えば、すべての料理を食べることができる。

#### b. 実施日、スケジュール

会場：やかげ町家交流会館 谷山サロン

11月5日（日）

屋台：11:00～（食材が終了するまで）

パフォーマンス11:00～18:00

第一部：文化発表、ダンス、歌、ビンゴ大会

第二部：カラオケ大会

屋台での販売が終わったグループから、矢掛町の見学ツアーに参加した。

#### c. 学生の反応

学生にとっては非常に楽しい一日となったようだ。矢掛町の人々と交流するだけでなく、研修生たちとの会話が弾んでいた。矢掛町は小さな町だが、古い建物が多く、見学ツアーでは、脇本陣の内部など興味深そうに見学していた。



図5 ベトナムフェスティバルの屋台

### 3.1.5 その他の地域連携による活動

#### (1) 瀬戸カーニバルへの参加

毎年、瀬戸駅近くの長嶋病院で夏祭りが行われているが、主催者は「社会福祉法人天摂会」である。昨年度から、ダンスパフォーマンスとベトナム料理の屋台で参加させてもらっている。今年はウズベキスタンダンスとベトナム料理の「フォー」と「バインミー」で参加した。

時間的には短いですが、瀬戸町の皆さんと親交を深めることができた。

#### (2) 朝日町夏祭りへの参加

昨年から、朝日町の夏祭りの手伝いをしている。屋台の手伝いをするだけなのだが、毎年多くの学生が参加し、地元の方々との交流を楽しんでいる。

### 3.2. 他の教育機関との連携

岡山県には県内の留学生受け入れ機関のネットワークがほとんどない。国際交流センターではさらなる留学生教育の向上を目指し、他の教育機関と連携を取ろうと努力してきた。国際交流センターが中心となっ

て、他の教育機関に働きかけ、連携を取ったイベントは、①本学主催の「外国人による日本語スピーチコンテスト」、②グローバルキャンパスを利用した「日本文化体験講座」の2つであり、また「大学コンソーシアム・岡山」主催の「エコナイト」にも参加した。

また、国際交流センターは直接関係していないが、次世代教育学部国際教育学科が窓口となり、岡山市内の小学校で留学生と小学生による国際交流会や、中国籍、ベトナム籍の児童に対する学習支援ボランティアを派遣している。

### 3.2.1. IPU主催「外国人による日本語スピーチコンテスト」

#### a. 外国人による日本語スピーチコンテストの概要

本学の留学生の日本語能力の向上、岡山県の国際理解・異文化理解教育への寄与を目的とし、本年度初めて本学主催の外国人対象の日本語スピーチコンテストを開催した。

岡山県ではこのような教育機関、所属機関を超えて、外国人を対象とした日本語スピーチコンテストは今まで行われていない。今回は、岡山県内の留学生が在籍する教育機関、岡山県内の外国人をつなぐネットワークを作るという大きな目標も掲げていた。

#### b. 実施日、スケジュール、内容等

会場：岡山市民会館 大ホール（2階席は使用せず）

開催日時：12月17日（日）

13：00～16：00（受付12：30～）

出場者：14名（表2参照）

審査員：6名

審査員長

・学校法人アジアの風 岡山外語学院理事長

片山 浩子様

審査員

・山陽新聞社 編集局報道本部長 板谷 武様

・一般財団法人 岡山県国際交流協会業務執行理事兼事務局長 肥塚 秀文様

・特定非営利活動法人AMDA社会開発機構

国内事業部チーム長 山上 正道様

・川崎医科大学 非常勤講師

宮田 アンンドリア様

・環太平洋大学 副学長 村上 尚徳先生

来賓：2名

（株）キャリアプランニング 張 艶利様

（株）ラウンドワン 長安 雅威様

オーディエンス：約200名

外部からの参加者は少なかったが、スピーカーの応援で、他の教育機関の教師やクラスメートが参加していた。

スケジュール：

実施の前に、数回、学生スタッフの打ち合わせを行っている。当日のスケジュールは以下の通り。

9：00 市民会館集合・準備開始

10：00～10：45 司会・ダンス等リハーサル

11：00～11：45 スピーカーリハーサル

表2 日本語スピーチコンテスト出場者一覧

1	Dang Hoang Nam	ダン ホアン ナム	IPU 現代経営学科	男	ベトナム
2	費 佳	ヒ カ	岡山大学学生	女	中国
3	Tran Thi Thu	チャン ティ トウ	IPU 現代経営学科	女	ベトナム
4	金 月	キン ゲツ	岡山外語学院学生	女	中国
5	Tran Thi Thanh Huyen	チャン ティ タイン フエン	IPU 国際教育学科	女	ベトナム
6	殷 楊旭	ウン ヤンウク	岡山県立大学学生	男	韓国
7	王 曉新	オウ ギョウシン	山陽学園大学学生	女	中国
8	Hoang Ngoc Bich Tran	ホアン ゴック ビック チャン	IPU国際教育学科	女	ベトナム
9	陳 俊傑	チン シュンケツ	岡山外語学院学生	女	中国
10	Nguyen Thi Thao Nguyen	グエン ティ タオ グエン	倉敷主婦	女	ベトナム
11	李 凌翰	リ リョウカン	岡山大学学生	男	中国
12	張 路平	チョウ ロヘイ	岡山県立大学学生(修士)	女	中国
13	Dilek Ergun	ディレック エルグン	岡山外語学院学生	女	トルコ
14	鹿 安冉	ロク アンネン	岡山商科講師	女	中国



12:30	開場/審査員来館
13:00	開会
13:10~15:00	スピーチ
15:00~15:30	審査/ダンス・文化紹介
15:30~15:50	審査結果発表 表彰式 講評
15:50	閉会
15:50~16:00	写真撮影
16:00~	片付け
16:45	退館 解散

#### 審査結果

##### 最優秀賞

環太平洋大学国際教育学科3年

Hoang Ngoc Bich Tran

##### 優秀賞

岡山外語学院

陳 俊傑

岡山商科大学講師

鹿 安冉

#### c. イベントを終えて

##### ① 本学の留学生について

スピーチコンテストの運営には60名ほどの留学生がボランティアとして働き、また、審査中の空き時間にパフォーマンスを披露するなどスピーカー以外でも活躍した。当日を迎えるまでに行われたミーティングにもほとんどの学生が参加し、各自の仕事をきちんと理解し、準備や当日の仕事に責任を持って取り組んでいた。その姿に、学生の成長を感じた。

##### ② 課題

スピーカーを集めるため、岡山県内の留学生が在籍する日本語学校、高等学校、専門学校、短期大学、四年制大学、国際交流グループ、日本語ボランティアグループ、ALTを統括する教育委員会に、スピーカー募集のお知らせを送り、参加者を募った。しかし、それぞれのグループを取りまとめているキーパーソンが見つからなかったり、取りまとめ役が存在しなかったりと、スピーカーを集めるのは容易なことではなかった。

また、オーディエンスを集めるため、関係のある小中学校、教育委員会に連絡をしたのであるが、足を運んでくれる人は少なかった。

本イベントは、公益法人福武教育文化振興財団の教育活動助成金をいただき、広報活動も支援していただいたが、スピーカー、オーディエンスを集めるのは、一朝一夕にはできないということを痛感した。

ネットワークを作るには、今後、活動を続けていく必要があると感じた。

#### 3.2.2. グローバルキャンパスでの「日本文化講座」

本学以外の外国人留学生や外国人居住者に本学の存在を知ってもらうため、グローバルキャンパスで日本文化講座を開催した。

講座は、「茶道と浴衣着付け体験」と「空手体験」の2回である。駅中の桃太郎観光センターや岡山県国際交流協会にチラシを置いてもらうとともに、非常勤講師の先生方を通じて、日本語学校の学生に声をかけてもらった。また、このイベントには運営スタッフとして本学の留学生が参加した。

##### (1) 茶道と浴衣着付け体験

日時：6月24日（土）13:00~16:00

内容：茶道体験

希望者には浴衣の着付けを行う。

協力：IPU茶道サークル

本学の留学生参加者：41名

外部参加者：11名

##### (2) 空手体験

日時：9月30日（土）13:00~15:30

内容：空手演武見学 空手体験

協力：IPU空手サークル

本学の留学生参加者：6名

外部参加者：20名

外部からの参加者はなかなか集まらず、広報活動、企画の見直しが必要だと思われる。



図6 グローバルキャンパス空手体験

#### 3.2.3. 大学コンソーシアム岡山主催「エコナイト」

岡山の大学からエコを広げようという活動で、省エネ等の推進のため、毎年県内の大学などで開催している「エコイベント」である。大学によって取り組み方は違うが、節電、ライトダウン、通勤時のマイカー自粛、浴衣で授業を受ける、グリーンカーテンを育てる等の活動が各大学で行われている。

イベントは、毎年7月初旬に行われ、本学では、

2015年から参加している。今年度は7月8日に奉還町商店街でイベントが行われ、パフォーマンスと受付ボランティアに参加した。当日は夜市も開催されており、多くの人でにぎわった。

場所：岡山市奉還町商店街

日時：7月8日（土）17：00～20：00

スケジュール：

13：00 集合 準備開始

15：00～ リハーサル

16：45 開会式準備

17：00 開会式・パフォーマンス開始

20：00 終了

本学の留学生は、「民族衣装と民族舞踊を楽しもう」というタイトルで、ベトナムの旗のダンスと、歌を披露し、場を盛り上げた。

### 3.3. 学内の国際化

学内の国際化は、以前より様々な取り組みがなされてきたが、なかなか成果が上がってない。国際教育学科主催の佐藤典子ゼミが運営する「外国語のど自慢大会」、学友会主催の“Welcome Party”など、日本人学生と留学生の交流の場はあるが、日常的な交流は少ないようだ。また、IPU学習サークルの「インターナショナルデー」へ留学生が文化を教える講師として招かれることもあるが、招かれた後、学習サークルのスタッフと留学生が親密になるということも少ない。

学内で、留学生、日本人学生が共に参加でき、その後、継続して交流が持てるような活動を企画しなければならないと思いながら、それができていないのが現状である。

今年度は、国際交流や異文化に興味を持つ日本人学生を増やすことを目標とし、国際交流に目を向けてもらうために、国際交流センター主催の「国際交流フォトコンテスト」を開催した。国際交流をテーマとした写真を募集し、環太祭で投票、優秀な作品を表彰するというものだ。

募集期間：10月5日～10月26日

メールに写真を添付して応募する形式をとった。

審査方法：環太祭の「エスニックカフェ」で展示し、来場者に投票をしてもらった。

写真が小さすぎて規定に合わなかったもの、テーマにそっていないもの、一人3点以上応募しているものは、展示から除いた。

応募総数：26点

展示数：22点

投票人数：141名

賞：最優秀賞1名 優秀賞2名 佳作3名  
入賞者の表彰は、学年末集会にて行った。

日本人学生からの作品の応募は少なかったが、投票してくれた学生は多かった。また、エスニックカフェに立ち寄った地域の方も投票に参加してくれた。わずかでも、国際交流に目を向けるきっかけとなっているように思う。今後は、応募作品を増やし、コンテストの規模を大きくしていきたい。

### 3.4. その他活動

以上、活動方針に沿った活動についてまとめたが、この他にも、留学生を日本文化に触れさせる活動を行っている。今年度は、恒例の「着物で初詣」の他、現代経営学科の「日本酒造り体験」への協力、地域のお茶会への協力を行った。また、留学生の文化を大切にしたいという観点から、ベトナムの正月を祝うパーティーも行った。

（1）着物で初詣

場所：岡山神社参拝と後楽園散策

日時：1月20日（土）11：30～14：30

参加者：38名

スケジュール：

8：30 フィロソフィア集合  
着付け

11：00 フィロソフィア出発

11：30 岡山神社到着 参拝  
後楽園へ移動 散策

14：30 後楽園出発

15：00 フィロソフィア着

毎年、多くの学生が参加し、楽しんでいる。今年は、男性の着物も増えたので、着物を着て参加する男子学生が増えた。



図7 岡山城の前で記念撮影



## (2) ケア・フレンズ岡山のお茶会参加

「ケア・フレンズ岡山」は「公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン」をサポートする組織として立ち上がった日本で最初に女性によるボランティア団体である。講演会・チャリティーバザー等を行い、収益金を東ティモール共和国の「コミュニティ自立支援事業」などの海外援助をはじめとし、被災地救済・県内施設への支援などに当てている。国内外で積極的な活動をしているグループである。

今回参加させていただいたお茶会も、チャリティー活動の一環であった。

場所：岡山ガーデン

日時：11月8日（木） 10：00～15：00

参加者：3名

スケジュール：

8：00 フィロソフィア集合

8：30 岡山ガーデン着

着付け

準備の手伝い

10：00 お茶会開始

15：00 終了

片付け

15：30 フィロソフィア着



図8 お運びをする留学生

参加したのは茶道サークルの留学生である。留学生の役割はお運びで、お茶を介して参加者と話をする姿が見られた。

## 4. まとめ

本年度の国際交流センターで行った活動を資料1にまとめた。昨年度に比べて、量、種類が増えている。国際交流センターの業務の一つである「外国人留学生

を対象とした文化イベントの充実」については十分な成果が得られた。これは、活動方針の一つである「地域との連携」がうまくいった結果であると思われる。

しかし、日本人学生と外国人留学生の交流による学内の国際化の推進は十分に行うことができなかった。他の教育機関とのネットワークづくりも、目標には遠く及ばない。今年度行ったような活動を地道に続けていかなければならないと感じている。

今後は、より質を高め、活動を継続していくことにより、地域との連携をより深め、他の教育機関とのネットワークを強固にし、学内の国際化の推進にも努めていきたい。

環太平洋大学では、様々な国際交流活動が行われている。繰り返しになるが、国際交流センターが関与していない国際交流活動も多い。体育会の国際大会参加や国際チームの受け入れ、国際教育学科が中心となっている小学校での文化紹介や学習支援ボランティアなどがそれである。

今後できれば、これらの国際交流活動も把握し、学内で活躍されている先生方と連携を取りながら、学内の国際化の推進を図っていききたいと思う。

## 参考

早島町＞早島の教育

[http://www.town.hayashima.lg.jp/kosodatekyoiku/hayashima\\_kyouiku/index.html](http://www.town.hayashima.lg.jp/kosodatekyoiku/hayashima_kyouiku/index.html)

(2018年11月29日)

ケア・フレンズ岡山

<https://care-okayama.jimdo.com>

(2018年11月30日)

倉敷市＞倉敷国際ふれあい広場2017

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/31655.htm>

(2018年11月29日)

やかげ町家交流館＞ベトナムフェスティバルin矢掛

<http://yakagemachiya.information.jp/2017/11/02/%E3%83%99%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E3%83%BB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%90%E3%83%AB-in-%E7%9F%A2%E6%8E%9B/> (2018年11月29日)

資料1 2017年度 国際交流センターの活動

月	日	場所	タイトル・内容等	参加者	備考
4	5 水	逢沢邸	お茶会	留学生2名	
	13 土	早島町	ロゲイニング(1)と英語交流	留学生20名参加	
	29 月	IPU学習サークル	インターナショナルディ	留学生9名参加	
	30 火	IPU学習サークル	インターナショナルディ	留学生9名参加	
6	10 土	早島町	ロゲイニング(2)と英語交流	留学生19名参加	
	19 月	早島幼稚園	キッズイングリッシュ	子ども学科5名 留学生6名参加	アンソニー先生
	24 土	グローバルキャンパス	外国人のための日本文化講座	スタッフ 留学生41名参加 日本人学生6名参加(茶道部他) 受講者 外国人11名参加	お茶・着物着付け体験
	8 土	泰選町商店街	エコナイト	留学生 40名程度参加 日本人学生 4名参加	
	10 月	IPU学習サークル	インターナショナルディ	留学生9名参加	
	11 火	IPU学習サークル	インターナショナルディ	留学生7名参加	
	15 土	瀬戸町	瀬戸カーニバル	留学生19名 日本人1名参加	
	29 日	朝日町	夏祭り	留学生15名程度参加	
	29 土	早島町	図書館で読み聞かせ1(タイ・中国)	留学生 10名参加	
	5 土	早島町	図書館で読み聞かせ2(ベトナム・中国)	留学生 6名参加	
8	7 月	早島町	わくわくタイム(デコづくり)	留学生14名参加	
	8 火	早島町	わくわくタイム(花ござあみづくり)	留学生19名参加	
	9 土	早島町	図書館で読み聞かせ3(台湾・ベトナム)	留学生 5名参加	
	26 土	早島町	図書館で読み聞かせ4(ベトナム・日本)	留学生 6名参加	
	27 木	早島町	わくわくタイム(和太鼓体験 花ござ卓球)	留学生17名参加	
9	5 火	赤磐市	ブドウ狩り体験	留学生15名参加	
	9 金	早島町	早島中学校 English day	留学生 18名参加	
	25 月	IPU学習サークル	インターナショナルディ	留学生8名程度	
	26 火	IPU学習サークル	インターナショナルディ	留学生8名程度	
	30 土	グローバルキャンパス	外国人のための日本文化講座	スタッフ 留学生6名 日本人学生5名 受講者 外国人20名	飯出 一秀先生 村上 知美コーチ
10	7 土	赤磐市	長里村運動会	留学生10名参加	
	15 日	倉敷市	食数国際ふれあい広場	留学生40名程度参加	
	28・29	IPU	環太祭:国際交流フォトコンテスト	展示:22作品 審査参加:141名	会場:エスニックカフェ
11	5 日	矢掛町	ベトナムフェスティバル	留学生50名ほど参加	
	8 日	岡山市	岡山ガーデン クア・フレンズ お茶会	留学生3名参加	
	18 土	早島町	ロゲイニング(3)と英語交流会	留学生15名程度	
	20 月	IPU	ウェルカム・パーティー 焼き芋大会	留学生100〜150名	ウェルカムパーティー:学友会
	9 土	早島町	ロゲイニング(4)と英語交流会	留学生15名程度	
	11 月	早島町	早島幼稚園 キッズイングリッシュ	子ども学科5名 留学生7名参加	アンソニー先生
	17 日	岡山市民会館 大ホール	外国人による日本語スピーチコンテスト	スタッフ 留学生40名程度 日本人学生5名程度 スピーカー 14名参加 オーディエンス 200名程度	担当:大平先生 田村 福武助成金対象事業
	23 土	早島町	早島土曜塾 ベトナム料理を作る	留学生9名参加	
1	20 土	岡山神社・後楽園	着物を着て初詣	留学生 38 名参加	
2	9 木	IPU	旧正月	留学生 100名程度	
3		IPU	IPUNZ来日	留学生 10名程度 日本人学生 10名程度	

小学校との交流会(長野先生担当)

山陽小学校  
11月8日 留学生25名  
11月29日 留学生23名  
1月17日 留学生33名  
橘多小学校  
11月27日 留学生38名  
1月15日 留学生38名  
富山小学校  
11月17日 留学生4名

現代経営学科行事

1月24日25日室町酒造 留学生14名

学校支援ボランティア(長野先生担当)

ベトナム人留学生 のべ10名